

演目解説

<管絃>

双調音取

双調は、唐楽六調子の一つで、洋楽のG音に相当する音を基音とした呂旋の調子です。

音取は、管絃演奏に先立って奏する短い曲で、音律を整えその調子の雰囲気を作ります。笙・箏・篳篥の音頭と鞆鼓そして主琵琶・主箏が奏します。

賀殿急

仁明天皇の承和年間(834年～848年)に遣唐判官藤原真敏が琵琶の譜によって原曲を我が国に伝え、嘉祥年間(848年～851年)に和邇部太田麿が嘉祥楽を作曲して破の曲とし、原曲を急の曲として賀殿を完成したと伝えられています。

胡飲酒破

この曲は、本来、舞を伴っており、胡国(古代中国の北方の国)の王が酒に酔って舞う姿を表したものとされていますが、伝来などについては明らかでなく、仁明天皇の承和年間(834年～848年)に、大戸清上おおとのきよかみが作ったものといわれています。

酒胡子

「酔公子」、「酒公子」、「酒飲子」等の別名があります。中国の唐(618年～907年)では「酔公子」といい、品玉しなだま(曲芸)の名です。また、酒宴の時に奏したとも伝えられています。

<舞楽>

左舞 春鶯囀(颯踏・入破)

舞のある唐楽三大曲の一つで、遊声、序、颯踏、入破、鳥声および急声からなっていますが、今回は颯踏および入破だけを演奏します。舞人の出には遊声に代えて調子を演奏いたします。

左方の四人舞(または六人舞)で、舞人は襲装束の諸肩を袒ぎ、この舞のための特有な甲を被って舞います。

右舞 抜頭

胡人の子が親を襲った猛獣を山野に探し求めてついにその仇を討ち、喜ぶ様を表わした舞であるとされています。

左方と右方の双方にある一人舞ですが、今回は右方の舞を演じます。

右舞 地久

右方の四人舞の準大曲で、別名を「円地楽」ともいいます。

曲は、「破」と「急」とからなり、舞人は襲装束を着て、大きな鼻の赤い面をつけ、「牟子」と呼ばれる頭巾を着け、甲をかぶって舞います。

台東区立浅草公会堂案内図



所在地: 台東区浅草1-38-6 TEL:03(3844)7491
 メトロ銀座線(渋谷～浅草) 浅草駅徒歩5分 東武鉄道 浅草駅徒歩5分
 都営浅草線(西馬込～押上) 浅草駅徒歩7分 つくばエクスプレス(秋葉原～つくば) 浅草駅徒歩3分

健康とむきあうひとときを、もっとゆたかに、快適に



人間ドック 各種健康診断 一般外来

- 日本大学医学部関連病院認定施設
- 日本総合健診医学会認定優良総合健診施設
- 全国健康保険協会生活習慣病予防健診施設

www.tsk-uguisudani.jp

03-3873-9161

東京都台東区根岸2-19-19
 JR日暮里・鶯谷駅徒歩6分



台東区総合健康診査・子宮頸がん検診・マンモグラフィ併用乳がん検診 受託機関

医療法人社団 せいおう会 鶯谷健診センター

天麩羅中清

台東区浅草一ノ三九ノ一三
 (浅草公会堂前)
 電話(三三四)四〇一五(代)
 http://www.nakasei.biz/

宮内庁型太鼓
 鐃鼓

この国の佳き伝統とともに
 株式会社 宮本卯之助商店
 創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売
 〒111-0035 東京都台東区西浅草2-1-1
 tel. 03-3844-2141 fax. 03-3842-6730
 www.miyamoto-unosuke.co.jp